

# 日赤さいたま

JAPANESE RED CROSS SOCIETY SAITAMA

2020夏  
VOL. 145



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

[特集]

## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に対する 日本赤十字社の対応

日本赤十字社  
公式マスコットキャラクター



# 新型コロナウイルス 感染症に立ち向かった 赤十字救護班



日本赤十字社は、新型コロナウイルス感染症への対応として、横浜港に停泊したクルーズ船や、武漢市からの帰国者一時滞在施設への救護班派遣など、政府からの要請に基づき、迅速に支援活動を展開して参りました。なお、活動に従事した延べ255人への職員の中から、感染者は一人も発生しておりません。

## 横浜港クルーズ船救護 派遣職員数

延べ **142** 人 救護班 67人  
DMAT (災害派遣医療チーム) 75人



厚生労働省からの派遣依頼を受け、横浜港に停泊したクルーズ船の乗客乗員の健康管理を目的に2月10日～3月1日の期間、救護班などを派遣。船内の主な言語は外国語であり、日赤救護班の海外救援の経験が生かされました。

## 武漢市チャーター便、クルーズ船下船者支援 派遣職員数

延べ **113** 人 赤十字病院18施設から派遣



武漢市からのチャーター便による帰国者およびクルーズ船からの下船者の経過観察を支援するため、一時滞在施設に医療職員を派遣。施設に滞在された方々の健康相談・健康チェックなどに従事しました。

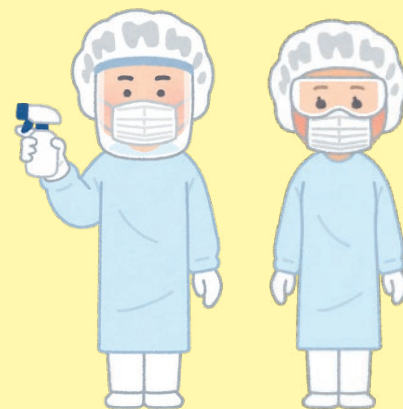
## 埼玉県内の赤十字施設から派遣

延べ **91** 人

派遣人数	さいたま赤十字病院		小川赤十字病院		深谷赤十字病院		日本赤十字社埼玉県支部	
	延べ日数	延べ人数	延べ日数	延べ人数	延べ日数	延べ人数	延べ日数	延べ人数
和光市税務大学校	19日	24名	3日	7名	6日	4名	11日	12名
国立保健医療科学院	9日	21名						
一時滞在ホテル			9日	18名	5日	5名		
合計	28日	45名	12日	25名	11日	9名	11日	12名



# 日赤病院内の 新型コロナウイルス 感染症との戦い



埼玉県内の赤十字病院は本来の地域で求められている医療体制を維持しつつ、一方で新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け県内の赤十字病院は埼玉県から重点医療機関として地域における新型コロナウイルス感染症患者を重点的に受け入れる指定病院として指定され、患者の受入を行っております。また、日頃から発熱者外来を実施し（さいたま赤十字病院は保健所からの紹介制）、新型コロナウイルス感染症への対策に万全を尽くしています。



日赤病院で新型コロナウイルス陽性患者に対応



深谷赤十字病院では車両に乗車したままPCR検査を実施



小川赤十字病院では発熱者専用の駐車場を用意

## さいたま赤十字病院は、さいたま市大宮区内の 夜の街関連従業員に対するPCR検査に協力

緊急事態宣言が解除された後、6月に入って特に夜の街関連の感染者が増え始めました。さいたま赤十字病院は、埼玉県からの要請によりさいたま市と協力し、7月中旬からさいたま市大宮区内の夜の街関連で働く方を対象にPCR検査を実施し、感染防止に取り組みました。



## ニュース1

### コロナ禍でも輸血を 必要としている人がいます

新型コロナウイルス感染防止のため、政府の外出自粛要請によって人出が減少しました。埼玉県を含む全国の献血ルームでは感染拡大防止に努め、コロナ禍でも輸血を必要とする患者の為に献血者の確保に努めています。



献血の呼びかけを行う職員（大宮献血ルームウエスト）

## ニュース2

### 社会福祉施設では入所者の 安全を第一に考え 対策を講じています

入所者の感染を防ぐため、埼玉県内の社会福祉施設では窓越し面会の実施など、感染防止対策に努めています。



感染防止対策の1つ「窓越し面会」（彩華園）

## ニュース3

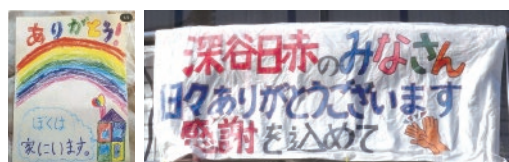
### 赤十字奉仕団の支援活動や 多くの方からのご支援をいただき 感謝申し上げます

埼玉県内の赤十字奉仕団員が「手作りマスク」を作成し、社会福祉施設等へ寄贈する活動を行っています。また、県内の赤十字施設には、個人会員および法人会員から寄付やマスク等の寄贈をいただきました。このような温かいご支援に大変勇気づけられています。



手作りマスクの作成（ときがわ町赤十字奉仕団）

多くの方から温かい  
ご支援をいただいています。



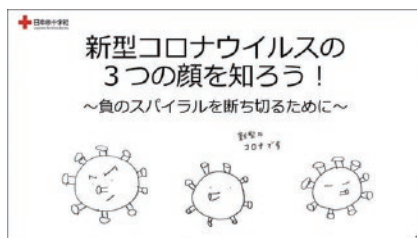
天皇皇后両陛下から  
日赤をはじめとする医療従事者へのねぎらいのお言葉がありました。

詳細は宮内庁ホームページで公開されています。



# TOPICS

## 新型コロナウイルスの恐怖とは 新たな「感染予防」の啓発



新型コロナウイルス感染症「病気」「不安」「差別」の3つの顔を持っていて、それが互いに関連して感染拡大を引き起こしてしまうことから、一人ひとりがそのつながりを断ち切る努力が大切だということを理解してもらう教材です。

## 新型コロナウイルスから体だけでなく、心を、社会を守る ウイルスの次にやってくるもの



ウイルスの感染の脅威が世界中で広がる中、「恐怖」は知らない間にも心の中で育ち、人びとを苦しめます。一人一人が「恐怖」に気づき、自ら防御し、気づけていない人には教えてあげてほしい。未知のウイルスに対して正しく怖れることの大切さを啓発する日赤オリジナルのアニメーションです。日赤公式YouTubeチャンネルで公開されているのでご覧ください。

## 令和2年7月豪雨災害の日本赤十字社の対応

7月3日から降り続いた大雨により熊本県をはじめ全国各地で甚大な被害が発生しました。翌日から日赤熊本県支部救護班を派遣したのを皮切りに、日赤第5・6ブロック※1の各県の救護班を派遣し活動にあたっています。さらには、各県支部からは毛布や緊急セット等の救援物資を配布するとともに、赤十字奉仕団のボランティアも情報収集や救援物資の配送を行う活動をしています。埼玉県内からはさいたま赤十字病院の第一救急部長の田口医師が内閣府調査チーム※2として現地で活動しました。

※1…中国地方、四国地方、九州地方

※2…関係省庁及び被災地方公共団体と緊密な連携をとりつつ、被災地の調査及び被害情報等の情報収集、災害対応に関する支援にあたる



熊本県球磨村

令和2年7月豪雨災害義援金を受け付けています。  
みなさまのご協力をお願いいたします。

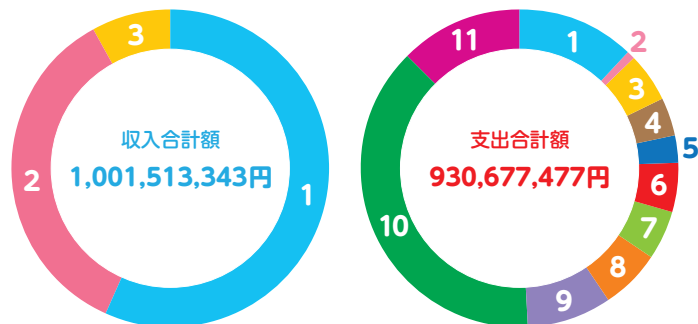
## YouTube公式チャンネル開設！

日本赤十字社埼玉県支部はYouTubeチャンネルを開設しました！その第一弾として『赤十字の着衣泳動画～水の事故から大切ないのちを守るために、みんなにできること～』を配信しました！

夏休みに川や海での水の事故から大切な「いのち」を守るため、服を着たままの浮き身（浮いて待て）、ペットボトルなど身近なもので自分自身や人を助ける方法などを紹介しています。ぜひチェックしてみてください！



## 令和2年度 第1回評議員会



1 活動収入	568,263,481 円
2 台風第19号災害義援金受入収入	355,226,884 円
3 事業収入・その他	78,022,978 円

収入合計額 1,001,513,343 円

毎年6月に行っている評議員会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書審議にて前年度の事業報告や一般会計歳入歳出決算が承認されました。改めて県民の皆さまからの日ごろのご支援、ご協力に感謝いたしますとともに、引き続き日本赤十字社の活動をご支援くださいますようお願いいたします。

1 災害救護活動のため	112,249,332 円
2 国際救援活動のため	7,429,110 円
3 救急法・幼児安全法等講習普及のため	48,112,576 円
4 青少年赤十字活動のため	34,878,186 円
5 赤十字ボランティア活動のため	27,165,778 円
6 救急医療活動や看護師養成のため	46,448,453 円
7 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	44,786,421 円
8 各市町村での赤十字活動のため	58,983,112 円
9 赤十字会員の加入促進や広報活動のため	79,427,418 円
10 台風第19号災害義援金送金	355,226,884 円
11 業務運営管理等のため	115,970,207 円

支出合計額 930,677,477 円

## PRESENT プレゼント

### ハートラちゃんグッズ！

日本赤十字社キャラクター「ハートラちゃん」のぬいぐるみです。

クイズ：○に入る言葉はなんでしょう。

新型コロナウイルスの  
3つの感染症は  
「病気」「不安」「○○」

- ①氏名 ②郵便番号 ③住所  
④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス  
⑦本紙入手場所 ⑧本紙の感想 ⑨クイズの答え

応募締切り：2020年10月末日

ハートラちゃん  
ぬいぐるみ  
[小]



尻尾が支えと  
なって  
自立します！

高さ約10cm  
カバンなどに  
取り付けられる  
ストラップ付

クイズに正解した方  
の中から抽選で  
5名様にプレゼント

メール：info@saitama.jrc.or.jp FAX：048-834-1520

はがき：〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1

日本赤十字社埼玉県支部 日赤さいたま担当 あて

- 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。
- お寄せいただいたご意見、ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで、当支部の広報活動に活用させていただきます場合があります。

日赤サービスオンラインショップではその他多数の日赤グッズを販売しています。問い合わせ先：03-3437-7515



日赤さいたまは日本赤十字社埼玉県支部が発行する広報紙です。

この広報紙は2,000円以上のご寄付をいただいている方へお送りしているほか、市区町村の日赤窓口、赤十字施設、支部ホームページなどで閲覧することができます。直接発送された方の中で、今後の送付を希望しない方につきましては、大変お手数ですが下記の連絡先までご連絡くださいますようお願いいたします。

